

あつたかいたきこみご飯

松永小学校 六年 万代 穂恵

私の家では、毎食ごはんです。それは、私たち家族みんなが、ごはんが大好きだからです。特に私たち家族は、おばあちゃんが作るたきこみごはんが大好きです。私が食べたいと思ったら、おばあちゃんに伝えておきます。すると、その日は、私が宿題をしている部屋中に、たきこみごはんに入っているゴボウやごはんのたけるにおいがします。私はそのにおいで早く宿題を終わらせようと必死になり、いつもより早く終わることが出来ます。そして、エプロンをして、おばあちゃんのために行き、お話をしながら、お手伝いをします。この時間は、とても楽しい時間です。

そして私は、夜ごはんが大好きです。なぜかというと、夜ごはんは、いつもおばあちゃんと一緒に作れるし、家族で一つのテーブルを囲み、その日の出来事を話しながら食べるごはん一つで、心が温かくなるからです。

ある日、お母さんが、  
「ごはん美味しいね、ありがとう。」  
と言いました。私は、家族のためになっ  
てうれしいと思いました。

また別のある日、ごはんを食べながら  
「私は卵アレルギーで、学校の友達は大  
麦アレルギーの友達もいるけど、お米ア  
レルギーはないよね？」

と私が言うと、お母さんが、

「そうだね。赤ちゃんが初めて食べるご  
はんは、お米からなんだよ。だから、ご  
はんは安心・安全でみんなが美味しく、  
楽しく笑顔で食べるよね。」

と言いました。それを聞きながら私が家  
族を見ると、みんなが笑顔で美味しく  
ごはんを食べていて本当だなと思い  
ました。そして人が最初に必ず食  
べるのは、絶対お米がいいと思  
いました。

今、世界の中には、お互いをくし  
みあい戦争をしている国もあり、  
貧しくてご

んが食べれなかつたりする国もあります。私は平和で安全な国で育ち、家族みんなと一緒に毎日笑顔で楽しく美味しいごはんを食べられる今を、大切にしたいと思いました。そして一秒でもはやく世界中のみんなが美味しいごはんを食べてほしいと思いました。なぜなら美味しいごはんは、みんなを笑顔にする力があると思うからです。このお米を使った美味しいごはんを食べる日本の大切な文化を、世界中に広めたら良いと思いました。そして、みんなで美味しいごはんを食べましょう！。

まず私は、はなれて一人暮らしをする従妹のお姉ちゃんや、ひいおばあちゃんに、美味しいごはんを毎日食べているか連絡をし、楽しい会話をしたいと思いました。一緒に食事をした時を思い出し、ギャハハと笑いながら、みんなにも、ごはんを食べた時のような笑顔になる時間を過ごしたいと思います。

「たきこみごはん食べたいない。」

とおばあちゃんに伝えて、電話します。